

# 第 80 回音シンポジウム

## 音声伝送性能評価指標としての STI を有効活用するために

### — その概要・注意点と活用事例の紹介 —

主催：日本建築学会 環境工学委員会 音環境運営委員会 室内音響小委員会

日時：2021年1月20日（水）13:00～17:00

会場：オンライン（Zoom）

音声明瞭度を表す音響指標である STI は、IEC60268-16 に規定され、AIJES-S0002-2011 で解説されているが、国内において幅広く活用されているとは言えない状況である。また、これらの規定がありながらも、STI の算出方法には分りにくい箇所も散見され、STI を有効に活用するためには、その手順と有効性を改めて整理することが必要である。インパルス応答予測・計測 WG では、STI 値をインパルス応答から算出する手法について、間違いやすい箇所を整理し、これらを検証するためのベンチマーク問題の作成に取り組んでいる。本シンポジウムでは当 WG の取り組みを紹介するとともに、STI 測定法に関わる現状と課題について議論する。

[プログラム]（予定） 司会：大久保洋幸（NHK）

- |                    |              |                |
|--------------------|--------------|----------------|
| 1. 主旨説明            | 大久保洋幸（前 掲）   |                |
| 2. STI 概説          | 西川 嘉雄（長野工専）  | 小林 正明（戸田建設）    |
| 3. STI の測定方法の紹介    | 小林 正明（前 掲）   | 西川 嘉雄（前掲）      |
| 4. STI を算出する方法の注意点 | 大久保洋幸（前 掲）   | 丸井 淳史（東京藝術大学）  |
| 5. ベンチマーク問題の紹介     | 星 和磨（日本大学）   | 安田 洋介（神奈川大学）   |
| 6. STI の活用事例の紹介    | 矢入 幹記（鹿島建設）  | 宮崎 秀生（ヤマハ）     |
|                    | 朝倉 巧（東京理科大学） | 豊田 恵美（小林理学研究所） |

参加費：日本建築学会会員 1,100 円、会員外 1,200 円、学生 1,000 円（PDF 版資料含む）

定員：70 名（申し込み先着順）

申込方法：Web 申し込み <https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=637425> よりお申し込みください

事前クレジット決済のみ（領収書は申込み締切後に申し込み時にご指定の配送先に郵送いたします）

申込み締切 1 月 7 日（木）→ 締切を 1 月 17 日（日）まで延長します

問合せ：日本建築学会事務局 事業グループ 一ノ瀬

TEL03-3456-2051 E-mail：[ichinose@aij.or.jp](mailto:ichinose@aij.or.jp)

#### オンライン参加にあたっての注意事項

★会員の方はお申込み時にサインインしたメールアドレス宛に、それ以外の方はお申込み時に入力したメールアドレス宛に、開催数日前に Zoom の参加用 URL をお送りします

①視聴には PC やタブレットなどの端末と、インターネット環境が必要です。通信料は参加者のご負担となります。

②受信映像や講演資料の保存（画面キャプチャ、カメラ撮影等）、録音、再配布は禁止です。

③参加用 URL 等をシェアすることは固くお断りいたします。各人でお申し込みください。

④録画配信ではございませんので、開催後の視聴はできません。

⑤Zoom の使い方・動作環境についてのご質問にはお答えできません。Zoom のアプリケーションをご利用の場合は、最新版への更新をお願いします。Zoom ヘルプセンター（<https://support.zoom.us/hc/ja>）をご参照ください。

⑥参加者の環境やそのときの回線状況により、やむを得ず中断される可能性があります。その場合は本会では責任を負いかねますので、あらかじめご理解のうえお申し込みください。